

議会改革に関する調査特別委員会 会議概要

日 時	令和3年7月28日 15:05～15:55
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 石川委員長 <input checked="" type="checkbox"/> 米須副委員長 <input checked="" type="checkbox"/> 伊佐委員 <input checked="" type="checkbox"/> 平安座委員 <input checked="" type="checkbox"/> 又吉委員 <input checked="" type="checkbox"/> 宮城政司委員 <input checked="" type="checkbox"/> 宮城司委員 <input checked="" type="checkbox"/> 山城委員 <input checked="" type="checkbox"/> 真喜志委員 <input checked="" type="checkbox"/> 知念委員
協議事項	①議会改革検討事項の長期取組について ②その他
配付資料	①議会改革検討事項の取組について～長期～ ②議場におけるプロジェクター及びモニターの活用について ③那覇市議会電子画像等の取扱要綱 ④議会事務局事務室の改修について（窓口拡張） ⑤災害時における議会の役割明確化について ⑥那覇市議会業務継続計画（議会BCP）
会議概要	<p>① 議会改革検討事項の長期取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ナンバー22) 議場におけるプロジェクター及びモニターの活用について</u> 議場における質疑・質問の際の補助資料としてモニター等を活用し資料提示する方法については、大型モニター等の設備設置は、現在の議場レイアウトの中では厳しい状況にあるため、既存の機器で提示できる方法を事務局にて確認するとともに、要綱等のルールを整備していくことに決定した。 ・ <u>ナンバー23) 議会事務局事務室の改修について</u> 議会を支える事務局のハード面の整備として、事務局入口からの室内の見通しを改善することで、議員との意思疎通の促進を図るとともに、市民に開かれた議会の理念のもと、市民が立ち寄りやすい窓口へつなげることが確認された。 具体的には、入口から職員全員が見渡せるレイアウトに変更することとし、詳細は事務局へ委任された。 また、議会事務局の組織体制について、課の名称を「庶務課」から「総務課」への変更等を含め、サポート体制の充実強化に向けて検討・調整を行っていることが確認された。 ・ <u>ナンバー24) 災害時における議会の役割明確化</u> 市議会として、災害時における市議会の役割や行動に関する計画等を策定していくことが確認されてきたが、具体的に「指針」「方針」「マニュアル」等の方法が様々ある中で、「業務継続計画」を策定していくことでよいか、持ち帰り検討することとした。全会派の意見一致後、文案の検討を進めることを確認した。 また、令和2年12月に「市議会災害時業務継続計画（BCP）」を策定した那覇市議会への視察について、質問事項を各会派取りまとめ、少人数で調査を行うことを確認した。

②その他（タブレット活用の課題について）

タブレット活用における課題について、各委員の意見を伺った。

（主な意見）

- ・事務局は、委員会等の前に配付資料はタブレットへセットしてほしい。
- ・勉強会の開催よりも、実際にタブレットを活用する場を増やすべきでる。
- ・事務局は、忘れずにWi-Fiルーターを会議前に設置してほしい。
- ・事務局は、各会議の資料は全てタブレットにセットしてほしい。それにより、以前の会議の振り返りや、各会派持ち帰り検討に活用できる。
- ・タブレット導入により、事務局の業務負担も増えている。マンパワーの問題もあるので、委員側でも要求する事項について考える必要がある。

委員長より、各委員からの意見を踏まえ、全委員が毎回委員会や本会議へタブレットを持参し、より活用できるよう改善に取り組むことに理解・協力を求めた。